

～9月15日「敬老の日」に、高齢者の暮らしを考える～
未来の介護支援「ロボットセラピー」で心と身体をサポート

学校法人鶴学園 広島工業大学（所在地：広島市佐伯区三宅 2-1-1）工学部 電気システム工学科の板井志郎准教授は、「介護施設におけるロボットセラピー」の研究を進めています。高齢化の進展に伴い、介護現場では人手不足や高齢者の心身ケアが大きな課題となっています。その解決策の一つとして、ロボット技術を活用した新たな支援方法への期待が高まっています。

■研究の背景と目的

板井准教授は、高齢者の心身の健康維持と介護スタッフの負担軽減を目的に、ロボットセラピーの研究を行っています。特に、ICT（情報通信技術）やコミュニケーションロボットの導入により、高齢者同士や、高齢者と介護職員とのコミュニケーション活性化をめざしています。

■研究内容と成果

具体的な研究内容としては、ロボットを活用したレクリエーション運用システム（シナリオ型ロボットレクリエーション）や、言語リハビリ支援などがあります。これらの技術により、利用者の心理的な安心感が高まるとともに、スタッフの作業負担の軽減が期待されています。

■今後の展望と社会への貢献

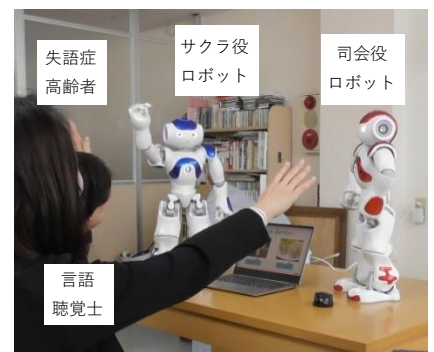
今後は、より多様な高齢者や介護職員へのニーズに対応できるよう、ロボットの機能の多様化や、介護現場への導入実績の拡大をめざしています。具体的には、見守りロボットを活用した徘徊防止支援、生成AIを活用した介護職員の間接業務（書類作成など）の効率化の実現をめざして研究を進めています。また、地域社会との連携を一層強化し、実用化に向けた取り組みを推進していきます。



ロボットとラジオ体操を行う様子



ロボットとボールゲームを行う様子



ロボットを活用した言語リハビリを行う様子

■取材について

9月15日「敬老の日」を前に、板井准教授への取材が可能です。取材をご希望の方は、9月9日（火）17：00までに、以下の連絡先までご連絡ください。

内容に関する各種お問合せ	TEL：082-921-4126（直通） 担当：工学部 電気システム工学科 准教授 板井 志郎	E-mail：s.itai.r3@it-hiroshima.ac.jp
取材に関する各種お問合せ （取材の申し込み先）	TEL：082-921-3128（直通） 担当：広報部 石田 知世	FAX：082-921-8946 E-mail：kouhou@tsuru-gakuen.ac.jp